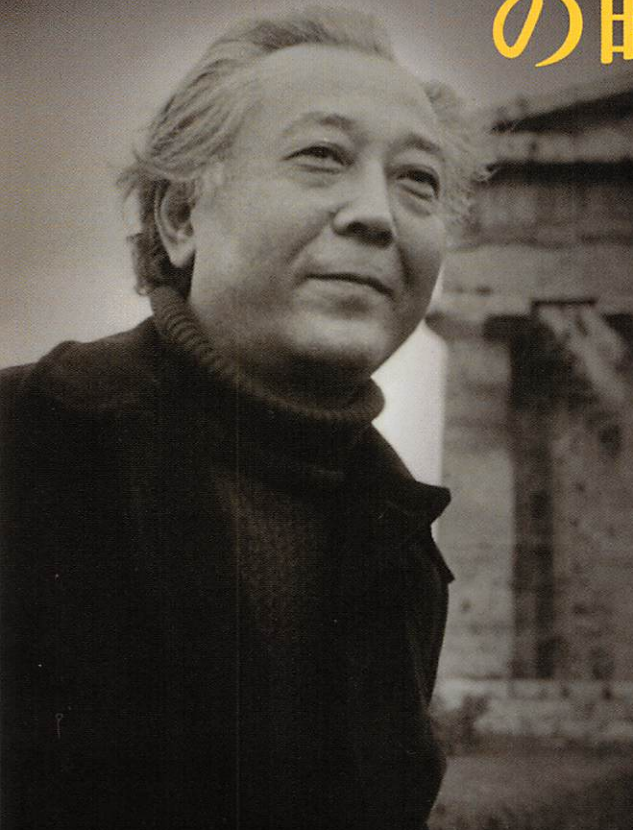


加藤周一を引き継ぐために— 「普遍的知識人」



の時代は終わったか？



講師

浅田 彰氏

(京都造形芸術大学教授)



2017年11月19日(日) 13:30開演

立命館大学衣笠キャンパス以学館第1号ホール

1970年代のチョムスキーとフーコーの論争などをきっかけにして、サルトルや加藤周一のような「普遍的知識人」の時代は終わったといわれるようになった。しかし、情報空間が細分化され、それが英国のEU離脱や米国のトランプ大統領誕生を生み出したポピュリズムの蔓延につながっている現状を考えれば、極度に進む情報や知識の細分化を横断的に乗り越える知識人の役割はやはり大きいというべきではないか。そのような観点から加藤周一の知識人としての営みを再検討し、その思考と行動とを引き継ぐ可能性について考える。

※浅田氏の御講演のあとに、加藤周一デジタルアーカイブのデモンストレーションを行います。
是非、御参加下さいませよう御案内申し上げます。

デジタルアーカイブで公開された加藤周一「青春ノート」



入場無料
申込不要



○市バス15・50・55・59「立命館大学前」下車
○市バス204・205「衣笠校前」下車 徒歩10分
※会場へは、公共交通機関をご利用下さい。

【問合せ】 加藤周一現代思想研究センター事務局 TEL 075-465-8225(月～金10:00～17:00)

【主催】 立命館大学図書館 立命館大学加藤周一現代思想研究センター